



車を運転していて、あるはずの信号に気が付かないことや、道路脇の雪山に気が付かずこすってしまったことはありませんか？

歩いていて、すれ違う人に気が付かずぶつかってしまったことはありませんか？

こんな時は、もしかしたら視野がかけているのかもしれませんが。視野がかけるというのは見える広さが狭くなってしまいます。

眼の症状は普通、皆さん眼科医に相談しますよね。もちろん眼球、目の玉に何か病気があることもあります。

でも、眼は脳の一部です。外から脳を覗くことのできる唯一の窓口です。目から入った情報は眼球の後ろに1本ずつ伸びている右と左の視神経を通り、中央で交差します。この部分を視交叉といいます。そして右側の視野は左の脳の後ろへ、左の視野は右の脳の後ろへ映画のスクリーンの様に映し出されます。

では、この視神経が中央で交差する視交叉が傷害されるとどうなるでしょう。この時は右目も左目も外側が見えにくくなります。つまり左右の視野が狭くなり真ん中しかよく見えません。そうすると、歩いていても横の人にぶつかってしまい、家の中の家具に気が付かずぶつかってしまうことがあります。

これは下垂体腺腫という良性脳腫瘍のときにおこることがあります。この腫瘍が視神経の交叉部分を圧迫して視野の外側を見づらくしてしまいます。こんな症状があれば脳かかりつけ医に相談してみましよう。

では次に脳の後ろにあるスクリーンが障害された場合はどうなるでしょう。右脳のスクリーンが障害されたら両方の目の左側が見づらくなります。左脳のスクリーンが障害されれば両方の目の右側が見づらくなります。どうも、歩いていて右側ばかりひとにぶつかる、運転していていつもある信号機が目に入らない、天井からぶら下がる電気にしばしば気づかないで頭をぶつけてしまう、テーブルのお食事の左側ばかり気が付かず残してしまう、ソースが目に入らない、こんなことがあれば脳の後ろのスクリーンに脳卒中や脳腫瘍などをきたしている場合があります。こんな症状があれば脳かかりつけ医に相談してみましよう。

では最後に・・・

外側がよく見えず真ん中だけがよく見える場合、人と良くぶつかる、家の家具にぶつかってしまうことがあります。こんな時は視神経が交差する部分に下垂体腺腫という脳腫瘍があるかもしれません。脳かかりつけ医に相談しましよう

両方の眼の右側だけが見づらい、左側だけが見づらい、運転中にいつも目に入る信号機が見えない、食事中にいつも気が付くソースに気が付かない、家の中の家具に気が付かず頭や体をぶつけてしまう、こんな時は脳のスクリーンに何か病気があるかもしれません。そんなときには脳かかりつけ医に相談してみましよう。